2021年非鉄リサイクル事業展望

日本アルミニウム合金協会 朝来野 修一会長

早期に適正価格是正

——新年を迎えるにあたり率直な気持ちを。

「予定されていた東京オリンピックが延期となった。世界的な大イベントを一蹴させた新型コロナウイルスという大きな壁に、世界が直面している。コロナの影響がこれほど長期に及んでいることに落胆しつつも、月日は流れ新年を迎えることが出来たことを喜ばしく思う。しかしながら、どことなく晴れやかな気持ちになれない。これまでとは違う新年であるとの思いは、皆同じではないだろうか」

——これまでと違う新年は、どのあたりに感じるか。

「テレワークや在宅勤務など新たな生活様式より、このコロナ禍の難局を乗り越えるという一つの手段が定着しつつある。働き方改革という観点では進展したのかもしれないが、やはりこれまでのFace to Faceでのコミュニケーションができないもどかしさ。帰省もままならず、親族や友人、同僚らと画面を通してでは出来ないコミュニケーションの不足が、そう感じさせる」

「コロナ禍で判明した、これまでの無駄な面を少悪しき慣習は改善しつつ、新たな年まれた技術などはアフターコロナで躍進し新生活に取り込んでいけば良い。従来のダイレクトでディープなコミュニケーションができる日を、コロナ感染予防をしっかり行いながら心待ちにする。来年（令和4年）の賀詞交歓会では、会員企業の皆さんと晴れやかな気分で新年を迎えたい」

——昨年4—9月におけるニ次合金の生産量は、過去20年間で最も低い水準だった。改めて昨年上期の業界を振り返って。

「世界経済が減速していく中で、19年度の消費税増税後から国内の自動車生産が減少傾向にあった。これにコロナが拍車をかけ、20年度上期の実績が過去最低の水準になった」

——輸入塊減少の影響を含めた、昨年10月以降の生産動向を。

「輸入塊の減少により20年度9月ごろから国内塊への回帰が鮮明となった。コロナ感染再拡大による経済活動の停滞が起こらないことが前提ではあるが、10月からの年度内しばらく。

「今に始まった話ではないという認識では一致している。産業廃棄物の処分場不足、ドロス処分工程の長期化や、鉄鋼分野における脱酸材としての使用量がコロナ禍によって減少したことが影響している。発生元である二次合金業界などに、処理費用の増加要請がきている」

——原料であるスクいても、国内塊への回帰は緩やか推測する。下期における二次合金の生産量は、通常の年と同等があるいはそれ以上のレベルで推移するものと考えている」

——二次合金の増産とともに、ドロスの処理費が増えていると聞いている。

「白動車の生産がとれまで低調だったため、需要スクラップなどの発生が落ち込んでいた。ここにきて白動車の急激な生産増を受け、原料購買はタイトな状況になっている。ラップが不足していることについて。

「合金部会として共通の見解を持つわけではない。一般的には、輸入原料が増えることで中国からの輸出や本邦への供給量が増加し、これまでのオファーしての見解などがあれば。

——価格の上昇に歯止めが掛かる可能性はある。その一方で、原材料段階での選別や洗浄、梱包が必要になる。購入価格が上昇することにより、これまでと同等あるいは低値でオファーされる可能性も否定できない」

——コロナ禍の中で、20年度の活動計画（アルミ合金事業に関する各種統計調査事業、製品規格・環境対策等に関する技術研究調査事業、各種政策情報等の普及啓発事業の3つの進捗はどうか。

「部会の事業のうち、統計調査など書面で実施可能な事業は計画どおり進められている。だが、参加者に会場に集まっていただく必要のある三級解説技能者認定試験や、会員の交流のために実施している令和3年賀詞交歓会などの事業は、コロナ感染防止の観点から中止になった」

「通常総会は書面で行った。理事会は当初書面だったが、その後はWEB会議となり、最近では会議室とWEB会議を併用して行っている。日本ダイカスト協会との共同研究調査は、白動車の車体や足回りの部品に活用可能な合金についての特性の確認を進めているもの。多少遅れてはいるが、報告書のとりまとめに向けて追い込みをかけている」

——21年の二次合金業界において、明るい話題や課題など見えているものがあったら。

「目新しいものはないが、白動車産業が変革期にあり、構成する部品は大きく変わっていく。労働力確保のための安全安心で魅力ある職場づくり、リサイクル機能を担っていく中での産業廃棄物処理等の環境問題など――の課題に、引き続き対応していく」

（藤田 章嗣）

非鉄金属リサイクル全国連合会 橋本 健一郎会長

地域で特色ある活動

2020年は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、ロンドン金属取引所（LME）相場が急落し、一時は銅相場がトン4600㌦台に下落した。ただ、中国景気の急回復をはじめ、ワクチン開発の進展、行き場を失ったマネーの金属相場への流入などで年末はそれぞれ7700㌦台、1900㌦台に持ち直した。スクラップ関連では、11月に中国が従来のスクラップ制度に代わる再生原料制度をスタートし、銅・黄銅・アルミスクラップの扱い筋各社は品位の向上やサイズ、梱包など新たな対応を迫られたが、国内スクラップが次々と流出するなど国内ユーザーと輸出業者との間で集荷競争が激しくなった。中でもアルミニ次合金は、輸入塊の供給不足やスクラップの発生薄で国内需給がひっ迫し、年を跨いだ今でも品薄状態が続いている。足元は中国景気や国内自動車生産が堅調だが、新型コロナの世界的な感染拡大は終息する気配が見られず、変異種の出現など前途多難なスタートを切った。日本アルミニウム合金協会の朝来野修一会長（日軽エムシーアルミ社長）と、非鉄金属リサイクル全国連合会の橋本健一郎会長（橋本アルミ取締役）に、昨年の回顧と本年の展望を聞いた。

——昨年6月に会長に就任した。初年度を振り返って。

「六車前会長のスローガンである「進・会・楽（しん・かい・らく）」を引き継ぎ、バージョンアップさせる形で様々な取り組みをしようと構想を練っていたが、就任前から懸念されていた新型コロナウイルスの影響や、世界的な感染拡大といった一連の騒動により、会員各社と肝心の交流ができず例がゆい1年だった。足元でも、感染の第3波や欧州における強い感染力を持った変異種の発症確認などもあり、周辺組織を考慮するとひとまず今春までは大人数での活動は難しい。交流が制限された1年だっただけに改めて全連や各地区の組合との活動の必要性と重要性を、会長としてだけでなく一会員企業として再確認した1年でもあった」

——昨年のロンドン金属取引所（LME）銅相場の推移を。

「LME銅相場は、年初はトン6000㌦、国内銅建値70万円で始まったが、中国武漢市で新型コロナの感染が確認され世界中に拡大し、景気減速と需要の急減により3月は4500㌦台、建値が最安値の55万円に下落した。ただ、6月にはがさらに改善し、LME7000㌦、建値79万円に乗せた。昨年末には7700—8000㌦、建値85—87万円の一段高となった」

——非鉄スクラップの荷動きへの影響は。

「銅スクラップはメーカーの購買量が低減し、アルミスクラップも一部メーカーが買い止めするなど一時的に荷動きが停滞した。ただ、世界景気の回復期待や国内白動車販売が止まった点などもあり、9—11月はワクチンの開発期待や中国需要の急回復、米大統領選でバイデン氏が当選したことなどで堅調に推移し、12月に入り中国が感染の封じ込めに成功し景気が一気に回復し、LME銅は5500㌦、建値64万円を回復。欧米諸国でロックダウンが解除され、7—8月には6500㌦、建値75万円に続伸し、9—11月はワクチンの開発期待や中国需要の急回復、米大統領選でバイデン氏が当選したことなどで堅調に推移した。

「銅スクラップはメーカーの購買量が低減し、アルミスクラップも一部メーカーが買い止めするなど一時的に荷動きが停滞した。ただ、世界景気の回復期待や国内白動車販売が止まった点などもあり、9月以降は相場上昇の追い風もあって荷動きは活発になった。

——非鉄金属の今後直近では、白動車生産台数を平均に絞った反動からアルミスクラップが不足しアルミニ次合金の玉不足に陥っており、さらには国内需要を満たしてきた中国塊が現地の原料不足で対日供給量を大幅に減らすなど、需給が非常にタイトになっている。世界的な需要拡大もあって中国やASEAN、EUなどの輸入塊相場が急騰しており、当面は需給ひっ迫や相場上昇が続きそうだ。非鉄スクラップの市中発生が増え始めるのは今春以降と予想している」

——非鉄金属の今後のあり方について。

「全連を一つの組織としてそれぞれの地域で特色のある産業に焦点を当てた活動を推進すれば今まで以上に実のある組織になる。新型コロナの発生以降は、国や関連業界との会合をオンラインで行わざるを得ず対面での活動ができていない。今年中にワクチン開発や終息に向けた方向性が見えないようであれば、何かしら別の交流手段を考えて各地区の組合が同じような活動をするのではなく、東京であれば情報収集や国への提言、名古屋であれば白動車産業、大阪なら家電、北陸は繊維など、それぞれの地域の特色を考える必要がある。私が理事長を務めている関西非鉄リサイクル協同組合においても昨年は組合員と全く交流の機会を持てなかった。非常に残念なところ。理事会の開催できず感染が一時的に収まった春と夏に開催できた程度。今年も新型コロナ次第という側面はあるが、大阪府や市の行政方針に順じながら組合員と交流する機会をできるだけ設けたい」

——最後に今年の展望について。

「新型コロナのワクチン開発と感染が広まれば、世界の白業活動が一気に消費に向かい、良い意味でこれまでに経験したことがないような好景気がやってくる可能性がある。LMEに最近でもNYダウや各国の株式市場・関連相場など価値を更新しており、当業界に関連するLME銅・アルミ相場も、ともに過去最高値を更新する公算は高い。需要が先行して高まった場合は実需による相場高騰を再付ける形で当分はバブル相場が続く。全連の活動としてもコロナが終息すれば、これまでの白業生活から解き放たれ、従来以上の参加人数でイベントや交流の機会を増やしたい」

（石橋 栄作）

新春インタビュー

新年特集
転換 2021
新常態への挑戦

HAPPY NEW YEAR
謹賀新年

非鉄金属材料販売
黄銅平角棒（熱間・冷間・カドミレス）
アルミ押出形材スパンドレル
アルミ形材加工
太和黄銅株式會社
代表取締役 生井俊匡
東大阪市金物町4番7号
TEL06（6725）5261
FAX06（6725）3879

創業以来80余年
私たちは合金生産技術の可能性を追求しています。
非鉄中間合金
りん銅、マンガン銅、けい素銅
マグネシウム銅、鉄銅等
銅合金鋳造加工
耐磨耗性銅基合金（OMアロイ）
電機用ブロンズ及び各種黄銅
株式会社大阪合金工業所
代表取締役会長 水田泰次
代表取締役社長 水田泰成
本社 福井市白方町第45号5番地9 TEL(0776)85-1811代
東京 東京都中央区京橋3-9-4新京橋ビル5F TEL(03)3563-0301代

株式会社林金属工業所
三井金属鉱業㈱原料指定問屋
代表取締役社長 林泰伸
再生亜鉛精煉業
ISO9001:2015認証取得
（骨鋼鉛錫）再生亜鉛地金、亜鉛合金地金の設計・開発及び加工・生産
亜鉛スクラップ製産業廃棄物の中間処理業・収集運搬業の許可企業
本社 堺市西区築港新町3丁27番地
〒592-8331 TEL（072）244－3444代表
FAX（072）247－2033
URL:http://www.hayashi-metal.co.jp

電気亜鉛・蒸溜亜鉛販売
亜鉛ドロス・滓買入
大阪亜鉛工業㈱
取締役社長 林昭宏
本社 大阪市西淀川区御幣島4丁目14番3号
〒555-0001 TEL.06（6471）2531代
FAX.06（6471）5781
東京営業所 東京都墨田区立花2丁目4番5号
〒131-0043 TEL.03（3618）2351代

レアアース・レアメタル合金等の製造・販売
スーパーアロイ、電池屑、SmCoMG、NdFeBMG屑・スラッジ、コバール、ステライト、特殊合金スクラップの選別、検収、販売
ISO9001:2015 JQA-QM8351 認証取得
株式会社林商会
代表取締役社長 林正裕
〒580-0006 大阪府松原市大堀1丁目15番29号
TEL072(331)8529代 FAX072(335)1524
URL:http://www.hayashi.com

Ogico 産業資材の流通チャンネル
銅・黄銅・銅・錫・ニッケル
アルミ・非鉄金属全般
株式会社扇谷
OHGITANI Corporation
本社 大阪市西区土佐堀1-3-7肥後橋シティビル
TEL.(06)6444-1521～1530（ダイヤルイン）
東京支店 東京都千代田区神田錦町3-15 NTF竹橋ビル
TEL.(03)5282-4800
名古屋支店 名古屋市千種区内山3-29-10 千種AMビル
TEL.(052)688-0557
海外 シンガポール、香港、タイ、マレーシア、フィリピン、台湾、中国・深圳、中国・上海、ベトナム
URL:http://www.ogico.co.jp

ホワイトメタル軸受
高純度金属
ウアロイ
レアメタル
半導体電子材料
㈱大阪アサヒメタル工場
大阪アサヒ商事株式会社
取締役社長 安部研
大阪市西成区南津守3-1-17
電話06（6658）0101
FAX06（6657）1922
http://www.asahimetal.co.jp/
大阪市北区豊崎5丁目6番2号（北梅田大宮ビル4階）
電話06（6372）1261
FAX06（6372）2315
http://www.osaka-asahi.com/

鋳物用銅合金地金
日本工業規格認証工場
ISO 9001 認定取得
製造元 ミカゲ金属工業㈱
〒514-2302 三重県津市安濃町安濃字日暮2222－2
電話059－268－2206代
FAX059－268－1949
ISO 9001 認定取得
販売元 ミカゲ金属㈱
大阪本部 〒541-0059 大阪市中央区博労町3丁目6番7号三都ビル206
電話06－6244－3115代
FAX06－6244－3116
東大阪倉庫 〒577-0056 東大阪市長堂3丁目11番20号
電話06－6782－3115代
FAX06－6782－3143